

ながぬま



— 大豆収穫風景 29区 服部正幸さん ほ場 —

農協法公布記念日に あたって



北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

このたびの災害により被害を受けられた皆様ならびにそのご家族の皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興へ向けて、JAグループ北海道は組織を挙げて全力で支援に取り組んでまいります。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で71年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民

主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、総合事業を展開しながら今日に至っております。

例えば安全・安心な食品の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する金融事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、地域社会に貢献するための様々な社会的取組みも行なわれております。

地震や風水害による大規模災害が発生した際には、各協同組合が物資の支援、ボランティアの派遣、募金活動等を展開することにより、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしております。

本年9月の災害時にも、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動に対し、敬意とともに、協同組合の力を改めて認識させていただいたところでです。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を発揮してきています。

そのような中、2016年に「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、さらに本年4月には、我が国の農協、漁協、生

協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JC A）が発足したところです。

また、第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAグループが一体となって取り組むことといたしました。

農業協同組合に集う組合員、役職員の皆様は、このように世界的に評価され、社会的意義のある協同組合の仲間であることを誇りとしながら、協同活動の輪（食と農でつながるサポーター550万人づくり）を広めていただきたいと思います。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることを誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージといたします。

学校給食 農産物贈呈式

10月10日、長沼町役場町長室において、学校給食用新米なつぼし500kg・新玉葱100kg・新じゃがいも100kgの贈呈式が行われました。

成田組合長から長沼町長へ「日頃より農業に対するご協力やこの度の台風や震災における助成対策に対し感謝とお礼を申し上げます。本年は異常気象や台風・地震等が発生し農産物全般にわたり平年作を下回りましたが、生産者の努力によって良食味な米・玉葱・じゃがいもが生産されました。学校給食を通じ児童・生徒の皆



様に地場産食材をたくさん食べていただき、元気な学校生活を送っていただきたいと思います。また、平田玉葱生産組合長からは「日頃から玉葱生産組合に対し御支援をいただきお礼を申し上げます」

す。異常気象により大変苦労した年でありましたが、生産者の日頃の努力により良品なものが生産されました。安全で安心な玉葱を食べていただきたい」と、それぞれ言葉を述べ贈呈されました。

戸川町長より、「長沼農産物全般にわたり大変ご苦労された年となりました。生産者のご努力に心から敬意を表します。来年にむけての生産基盤確保のため、長沼町・農協連携のもと助成対策を講じさせていただきますので、一日も早い復旧を願っております。学校給食では年間を通じ、米は100%、野菜35.2%、パン、ラーメン、うどんを長沼産で町内小・中・高合わせて毎日1030食に使用されています。地元産食材使用率は全道でもトップクラスとなっています。引き続き長沼町の教育振興にご協力と益々の農業発展をご祈念申し上げます」と謝辞をいただきました。

ホテルエミシア札幌 新米なつぼし刈取る

ホテルエミシア札幌とながめ農協は、相互協力協定を締結しており、地元農産物へのこだわりやホテル従業員の農業への理解を深める目的から、田植えから稲刈りまで一貫した作業体験を実施しています。

柴田専務理事の10aの水田に5月25日に田植



を感じながら慣れない鎌を手にし稲刈りに汗を流していました。



えをし、順調に生育した稲を9月27日に収穫を行いました。

総支配人をはじめ営業担当・広報担当・ベルボーイ・料理担当者など多くの部署から参加され、農業の大変さや有りがたさ



「新米・新酒・新そば」を味わう

10月10日、長沼町民会館で「新米・新酒・新そば祭り」(長沼町グリーン・ツーリズム推進協議会 主催)が開かれました。

会場には、JAながぬまが提供した炊きたての「ななつぼし」や、JAながぬま女性部の協力によって手作りされた秋野菜のほくほくグラタ



第10回「新米・新酒・新そば」祭り

ンやじゃがいものガレット、マオイ牛力レーなどのながぬま産農畜産物を使用した料理が並べられ、町内外からの参加者に味わってもらいました。

また、町内の醸造業者5社のどぶろくと町内ワイナリーのワイン、商工会女性部が作るおからコロツケ、馬追手打ちそばの会による手打ちそばとともに料理を味わい、予定されていた料理、飲み物が完食となり祭りは大いにぎわいました。



子会社3社の合併契約締結

本年春先から経営合理化に向けた子会社3社の統合について、調査検討を進めてまいりましたが、それぞれ関係機関等との打ち合わせにより方針が決まり、10月1日農協会議室において各社の代表取締役並びに取締役が出席して合併契約調印式を執り行いました。

合併による新会社の発足は平成31年2月1日で、名称を「株式会社F.A.M.O長沼」といたします。

F.A.M.OはFood(食物・食料) Agriculture(農業) Motor(自動車) Oil(石油油)の頭文字を併せたもので、英語表記でF.A.M.Oは、親しい友人、最愛の家族などの親しい人を指す呼称の意味合いもあり、子会社3社が合併して農協と協力しながら地域に必要とされるライフラインの一翼を担い、長沼(農業)を愛する会社として地域貢献できることを願い命名いたしました。



た。従前の各社業務はそれぞれ各事業部門(機械センター、燃料センター、Aコープながぬま店、総務・請負)となり、合併後も従前3社の業務内容と業務体制に変更はありません。新会社発足後も組合員・地域利用者の皆様には引き続きご利用いただきます。よろしくお願いいたします。

JAながぬま青年部収穫祭開催



開会挨拶をする成田組会長



女性部販売ブース

部、Aコープながぬま店、長沼町商工会青年部、長沼町産業振興課、ホテルエミシア札幌、森下松風庵、馬追手打ちそばの会、未楽瑠加工グループ、キタカラ、晴れの日、焼鳥小僧、ワカバコーヒー、JAながぬま資材センターが出店し、盛大に行われました。



大盛況の詰め放題



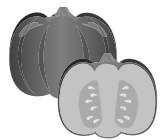
平田部長による開催宣言

9月30日、JAながぬま本所駐車場で第10回JAながぬま青年部収穫祭を開催しました。開会式で成田組会長が「今年は台風や地震等の災害が多く厳しい環境だったが、青年部員が育てたながぬま産農産物を味わってほしい」と挨拶され、JAながぬま青年部平田部長による開催宣言により販売が始まりました。



ちよリス登場

いに盛り上がりしました。さらにタヤけ市やマオイ夢祭りで好評のながぬま産ユキホマレを100%使用した青年部オリジナル誉とうふも販売しました。また、JAバンクのマスコットキャラクターであるちよリスも登場し、会場を盛り上げていました。



農協学校で 農業経営者としての心得や基礎知識を学びませんか？

新規就農者研修 平成31年1月9日(水)～11日(金) (2泊3日)

受講対象：農業経験概ね5年以内の農業者（新規参入者、学卒者の農業者など）
 参加料：42,500円 ※担い手育成緊急特別研修事業をご活用いただけますのでご相談ください

研修のねらい 農業・JAを理解した農業経営と地域農業を担う新規就農者の養成

組合員及び農業経営者としての心得を学び、協同組合の特性、JA組織の仕組みや事業内容などの習得

重点研修事項

- 協同組合の特性、JA理念と組織・事業、農業者としての役割を理解する。
- 健全な経営を実現するための農業者、経営者の心構えを理解する。
- 農業経営と地域農業推進の担い手としての自覚と自己発信力のあるコミュニケーション能力を高める。

研修の内容

- ★協同組合運動とJA組織・事業
- ★農業者のコミュニケーション（自己発信力向上）
- ★新規就農者に期待すること
- ★相互討議
- ★「耕種」（土づくりの理論と実践）（私の農業経営）
- ★「酪農」（飼養管理の重要性とその技術）

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第1日目	オリエンテーション	協同組合運動とJA組織・事業 本校講師	昼食	私の農業経営 農業者 農業者		自己紹介	共同研究		
第2日目	農業経営の基礎 系統講師		昼食	ボトムアップで成長する 農業者のためのコミュニケーション 専門講師			夕食		
第3日目	相互討議 系統講師		昼食						

農業経営者養成研修 平成31年1月16日(水)～18日(金) (2泊3日)

受講対象：新規参入者・Uターン・Iターン農業者などの方で、農業従事年数が5年以上で、かつ5年以内に経営継承する方
 参加料：42,500円 ※担い手育成緊急特別研修事業をご活用いただけますのでご相談ください

研修のねらい 地域農業を推進する中核的農業経営者の養成

経営者として、また組合員として果たすべき役割と理解、経営者として必要な基礎知識と地域農業推進を担う上での資質・コミュニケーション能力向上のための知識修得

重点研修事項

- 協同組合の特性、JA理念と組織、事業の内容、組合員の役割を理解する。
- 経営の健全経営、更なる発展と経営者としての自覚を高める。
- 経営者、組合員として、地域農業の担い手として協調性あるコミュニケーション能力を高める。

研修の内容

- ★協同組合運動とJA組織・事業
- ★経営者として必要なこと
- ★農業経営の基礎
- ★農業経営者のコミュニケーション（良い人間関係を作るために）
- ★経営継承に向けての準備（具体的な計画を考える）

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第1日目	オリエンテーション	協同組合運動とJA組織・事業 系統講師	昼食	農政を巡る情勢 系統講師	農業経営者として必要なこと 系統講師	自己紹介	共同研究		
第2日目	農業経営の基礎 系統講師		昼食	農業経営者のコミュニケーション 外部講師			夕食		
第3日目	経営継承に向けての準備 系統講師		昼食						

■お問い合わせ先 営農部 営農企画課 TEL 88-2232

台風21号に伴う農業用廃ビニール類の回収について

この度、台風21号の被害を受けられました皆様方には心よりお見舞い申し上げます。10月に引き続き台風被害でのビニール類の回収を実施いたします。つきまして下記のとおりご案内申し上げます。

受付時間 午前9:00～12:00 午後13:00～15:30

受付場所 麦バラ調整施設構内（トラック1台ごとに回収前と回収後に計2回計量します）

11月19日(月)	午前	午後
	1区～16区	17区～31区・市街地
回収物	・農ビ ・農ポリ ・マルチ ・灌水チューブ ※台風被害に遭われたハウスビニール類のみ。上記以外の物は受入できませんので充分注意願います。(肥料袋、ラップなど)	
費用	18円/kg（消費税別）ですが、被害に遭われたハウスビニール類となることから、生産者負担の軽減を図るため、長沼町とながめ農協で助成額を検討します。	

第2回農業用廃ビニール・廃プラスチックの回収について

平成29年度より、処理価格の高騰、リサイクル品の需要の低迷などといった流通環境の変動により、一部回収方法、分別内容の変更がございます。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

日程	ビニール類		プラスチック類	
	11月21日(水)	11月22日(木)	11月23日(金)	
午前	1区～16区	1区～8区	17区～24区	
午後	17区～31区・市街地	9区～16区	25区～31区・市街地	
回収物	・農ビ ・農ポリ ・肥料袋 ・ラップ ・マルチ ・灌水チューブ ※上記以外の物は受入できませんので充分注意願います		※フレコン（廃ビニール回収から廃プラスチック回収に変更） ・農業容器（洗浄済み） ・ネット類 ・糸入りホース ・ブルーシート ・点滴チューブ ・その他農業用廃プラスチック類	
費用	18円/kg（消費税別）		32円/kg（消費税別）	

回収できない物	・ゴム製品 ・ビン ・金属類 ・ダンボール ・木屑 ・一般家庭ごみ ・発泡スチロール ・FRP（繊維強化プラスチック） ・苗箱（※第2回では受け入れできません）
---------	--

1. 受付時間 午前9:00～12:00 午後13:00～15:30

受付場所 麦バラ調整施設構内（トラック1台ごとに回収前と回収後に計2回計量します）

2. 助成金 ・長沼町より5円/kg以内の助成金が支給されます。（JAも長沼町と同額を助成。）
 ・助成金の支払いは、2回目の回収（11月末予定）が終了し、年間処理量が確定した後（12月頃）となります。
 ※取引口座（クミカンまたは普通貯金）で支払いいただきます。

平成29年度より、一部回収方法、分別内容を変更しております。円滑な回収作業のためにも、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- 麦バラ施設構内に車両洗浄施設を設置しております。空車計量後から必ず車両洗浄機を通過し退場をお願いします。
- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて、「産業廃棄物処理委託契約締結に関する事務」の委任状の事前提出が必要となります。今年度未提出の方は営農部営農企画課まで提出をお願いします。
- フレコン袋は「廃プラスチック類回収日」となります。フレコン袋に入れて搬入する場合は、すべてのフレコン袋の中身を確認し、回収できない物が含まれていた場合、受け入れはできません。
- 農ビ（PO除く）は回収方法が異なるため、他のビニール類と分別して車両に積載してください。
- 塩パイプなど長さのあるものは、1m以内に切断してください。
- 農業の容器類は必ず水洗いしてください。透明なビニール袋（梱包用ポリ袋など）にいれマジックで氏名を記入してください。
- ラップ類に牧草など付着している場合は回収出来ません。
- ビニール類の回収日で農ビなどをまとめる際にハウスバンドでまとめた場合は回収できますが、ハウスバンドのみはプラスチック類の回収日となります。

お問い合わせ先 : ながめ農協 営農部 営農企画課 TEL 88-2226

突然、日本各地を襲う自然災害。

「洪水」や「台風」「大雪」さらには「地震」。
いつ・どこで・どんな自然災害が起きるかわかりません。



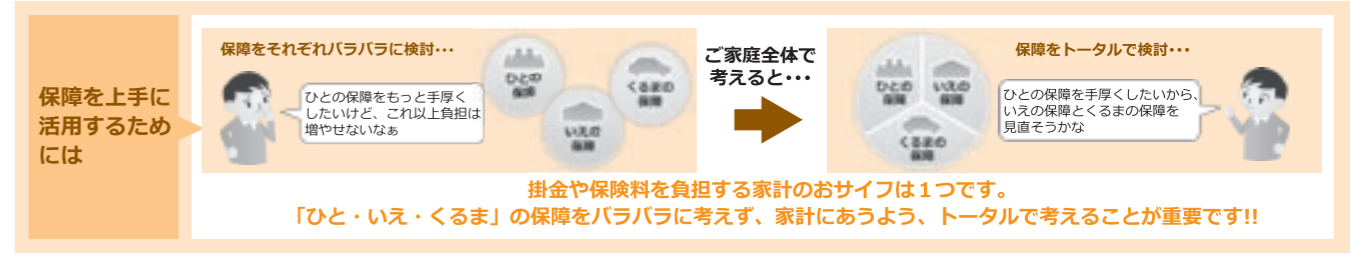
自然災害で大きな損害が発生する可能性がある「家（建物）」。
自然災害への備えは十分ですか？

■建物再生共済における自然災害に対する共済金支払状況

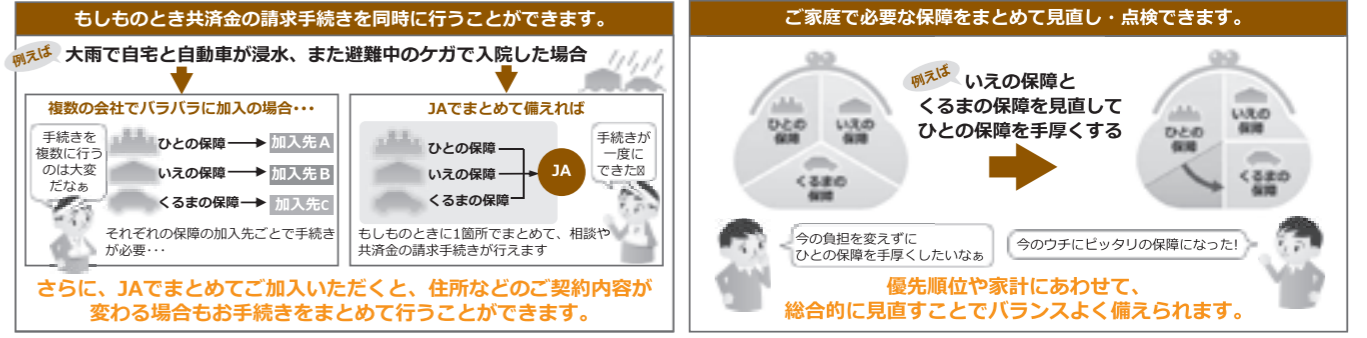
- 過去の主なお支払い
- ①平成16年9月 台風18号 (山口・熊本・福岡ほか) 284,560件 / **1,083**億円
 - ②平成23年3月 東日本大震災 (宮城・福島・岩手ほか) 683,433件 / **9,367**億円
 - ③平成25年11月～平成26年3月 平成25年度大雪 (山梨・埼玉・群馬ほか) 173,742件 / **814**億円
 - ④平成28年4月 熊本地震 (熊本・大分・福岡ほか) 93,206件 / **1,479**億円 (平成30年3月末時点) JA共済連調べ
- 助け合いの精神で事業運営を行っている共済事業。これまでの自然災害でも皆様のお役に立ってまいりました。

自然災害への備えのためには

ひと いえ くるま の保障を活用することが解決策の1つです。



JA共済なら



JAと一緒に「ひと・いえ・くるま」の保障について考えてみませんか。

お問い合わせは JAながめま 金融部共済課 TEL88-2225

大規模な自然災害が発生すると「家（建物）」には大きな損害が生じます。でも、損害が発生するのは「家（建物）」だけでしょうか？

自然災害が発生すると「家（建物）」以外にも様々な被害（損害）が...

いえ
家財・家具

自然災害は「家財・家具」も襲います。実は、家財・家具は思っている以上にたくさんあります。

例えば大人2人、子供2人の4人家族 住宅面積（延べ面積）66㎡以上132㎡未満なら
家財・家具の総額 1,270万円

※JA共済「家財価値評価基準」より ※実際の総額は異なる場合があります。

落雷による被害も...
家財・家具が被害にあう原因 (平成27年度) **4,665件** 落雷 **50.3%**

「家」は直せても、家財・家具がなければ今と同じ生活は送れないかも...

ひと

自然災害が生じた場合、避難中にケガをしたり、万一のことが発生することも...

■近年の大規模災害における人的被害状況

	死者	行方不明者	負傷者
平成23年 東北地方太平洋沖地震※1	19,667人	2,566人	6,231人
平成28年 熊本地方を震源とする地震※2	271人	0人	2,808人
平成30年 大阪府北部を震源とする地震※3	5人	0人	454人
平成30年 7月豪雨及び台風12号による被害※4	223人	8人	442人

【出典】※1 消防庁HP「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）について（第158報）」
※2 消防庁HP「熊本県熊本地方を震源とする地震（第119報）」
※3 消防庁HP「大阪府北部を震源とする地震による被害及び消防機関等の対応状況（第29報）」
※4 消防庁HP「平成30年7月豪雨及び台風12号による被害状況及び消防機関等の対応状況（第56報）」

ご自身・ご家族に万一のことがあった場合や入院・通院をされる場合について想像されたことはありますか？

くるま

通勤・通学にお買い物等、今の生活になくてはならない「くるま」。その「くるま」が、自然災害により買い替えや修理が必要となると、急な家計への負担が発生してしまいます。

■自動車共済における平成30年の台風7号・平成30年7月豪雨に対する共済金支払状況 **2,657件 / 24億円** (岡山・愛媛ほか)

※車両保険によるもの。平成30年8月23日時点) JA共済連調べ

水害

長年乗ってきた大切なおくるまにも損害が発生することがあります。

予測できない 自然災害。

「自分」は、「我が家」は、『大丈夫』と考えていませんか？



日常生活に大きな影響を与える自然災害。様々なリスクについて考えておく必要があります。

起こってしまったからでは遅い自然災害！もう一度備えについて確認してみませんか？

JAグループ通信

JAグループ北海道×コンサドーレ札幌『北海道応援マッチ』特集号

来場者に全道各地のJA特産品を550名様にプレゼントする企画や、JAグループ関係のブースを回るスタンラリー抽選会、「JA2MP」チェックインキャンペーンを実施しました。試合はコンサドーレの劇的な勝利に終わり、JAグループ北海道よりMVP賞の贈呈を行いました。

JA北海道中央会



*JAグループ北海道は、北海道コンサドーレ札幌とともに、スポーツを通じて皆さんの皆さまに食や農業の大切さを伝える活動を行っています。

9月29日のサガン鳥栖戦は、JAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌による『北海道応援マッチ』として開催しました。

毎月、JAグループ北海道の連合会・中央会の活動を紹介しております。今月は、平成30年9月29日に北海道コンサドーレ札幌ホームゲーム（vsサガン鳥栖戦）をJAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌による『北海道応援マッチ』として開催しましたので、会場での各取組みをご紹介します。



ホクレンは来場者先着2000人に顆粒片栗粉「とろりんぱっ」を配布したほか、「ホクレン大収穫祭」の告知及び全国発送のチラシを配布し、来場者に対してPRを行いました。ブースには北海道コンサドーレ札幌の田中雄大選手、藤村怜選手、クラブマスコットの「ドレくん」が相次いで応援に駆け付け、配布を手伝うとともに、快く握手などに応じ、集まったサポーターたちを喜ばせました。

ホクレン



JAバンク北海道では、会場で「口座開設を予約していた方」に抽選でコンサドーレ観戦券またはコンサドーレ・オリジナルマフラーを、「ちよリスと一緒に撮影し、SNSに投稿していただいた方」にちよリス・ブランケットをプレゼントしました。

小野伸二選手も応援に駆け付け大盛況となり、多くのコンサドーレサポーターの方にJAバンクをPRすることができました。

JA北海道信連



JA北海道厚生連からは配置薬課より「野菜酵素青汁」と「草苜譜Ⅲ（入浴剤）」の配布を行い、稲本選手もブースにかけつけてくださり、多くのサポーターの皆様が集まっていただき大盛況となりました。

今後も北海道コンサドーレ札幌の活躍を応援していきたいと思ひます。

JA北海道厚生連



JA共済連北海道は、地域貢献活動の紹介チラシを作成し、粗品とあわせて配布することで、交通安全を呼びかけました。

また、小さいお子さまには、ひとのわがまのおなかを的にし、ボールを投げたいたくゲームで楽しんでいただき、大盛況となりました。来場者の皆さまにJA共済連の交通安全にかかる活動を知っていただくことができました。

JA共済連北海道



JA共済 JAの自動車共済 フリーダイヤル安心サービスのご案内

ご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは

ご契約のJA(業務時間内)もしくは
**フリーダイヤル
安心サービス**
24時間・365日対応

事故等の場合には	JA共済事故受付センター ジコはクミアイ 0120-258-931
レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には	JA共済サポートセンター レッカーロードサービスはクミアイ 0120-063-931

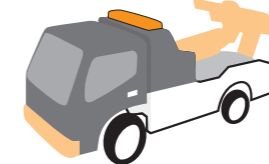
フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

電話料金は無料です。公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

JA共済の安心サービス

1. レッカーサービス

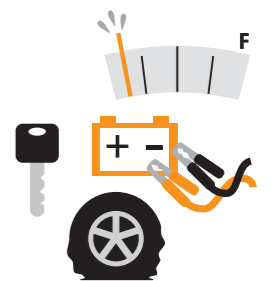
現場から100km以内のけん引が無料！
クレーン作業などの難作業も5万円(税込)までJA共済が負担します。



事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。横転、路外逸脱等による難作業も対応します。

2. ロードサービス

30分程度で対応可能な
応急対応が無料！



故障・ガス欠等により自力走行不能となった場合に、修理業者が現場へ急行し、お車の応急修理を行います。

事前にJAまたはJA共済サポートセンター(JA共済事故受付センター)に要請された場合に本サービスの対象となります。(ご自身で工場等へ直接手配された場合は本サービスの対象外となります。)

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。
※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担になります。
※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JA共済事故受付センターまたはJA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。レッカーサービスのけん引距離については現場から115キロまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5,000円を限度にサービス対象範囲とします。

3. 夜間休日 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービスの受付時間は、平日：17時～23時、土日・祝日：8時～23時です。
※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。
※原則として、対応員の出勤拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし高速道路等一部の場所は本サービスの対象外となります。
※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

4. 夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応(事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等)を行います。

※本サービスの受付時間は、平日17時～21時(対応は22時まで)、土日・祝日9時～21時(対応は22時まで)です。
※対人賠償事故(人身傷害事故含む)、対物賠償事故、車両賠償保険特約の付いた車両単独事故が対象となります。
※ご契約内容が確認できない場合、既にご加入先のJAの損害調査スタッフが対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

5. 休日契約者 面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し事故に関するご質問・ご相談に親身にお応えします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日：17時～0時、土曜・祝日、日曜・祝日：0時～17時です。
※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。
※JA共済より業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。

■各種サービス共通の注意事項(サービスのご利用にあたっては一定の条件があります。)
※交通事情、気象状況等により、サービス業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。
※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のおしり・約款」等をご参照ください。
18010504030

理事会報告 - 第10回 -

《平成30年10月22日開催》

〔議案〕

- 第1号 第2四半期自治監査講評について
- 第2号 信用の供与等の決定について
- 第3号 平成30年度決算見込みについて(9月末現在)
- 第4号 農業収入減少に伴う対応について
- 第5号 「JA北海道大会組合員組織討議」意見集約について
- 第6号 平成30年度地区懇談会の開催日程について
- 第7号 平成30年7月期ディスクロージャー誌(半期開示)の縦覧について
- 第8号 組合員の資格変更及び出資金減口について

〔報告事項〕

1. 会議行事報告について
2. 主要農産物生育状況について
3. 31年産「生産の目安」の基本的な考え方について
4. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の実施申請について
5. 平成30年産「米の館」「個体」出荷状況について
6. 野菜・花き共選等の状況について
7. 個人情報保護・情報セキュリティ及び内部統制に係る職務権限についての内部監査実施報告について
8. JA北海道大会の開催について
9. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数

組合員 1,638名
 正組合員 (854名)
 准組合員 (784名)
 正組合員戸数 728戸

年賀状印刷 承り中
喪中はがき

Aコープながめま店 ☎88-2222
 Aコープ北長沼店 ☎89-2136

農協の動き 9/14~10/22

9月

- 14日 粃バラ施設運営協議会 於 農協
- 14日 アスバラ共選場 操業終了 於 共選場
- 16日 長沼神社例大祭 於 長沼神社
- 20日 長沼町クリーン農業推進協議会総会 於 りふれ
- 20日 長沼町花嫁対策推進協議会役員会 於 りふれ
- 20日 長沼町「人・農地プラン」検討委員会 於 りふれ
- 20日 新規就農者激励会(11名) 於 りふれ
- 21日 「旗の波街頭啓発」 於 長沼郵便局前
- 22日 須賀川市物産展関係者歓迎会 於 長沼町内
- 25日 粃バラ施設操業開始 於 米の館
- 27~28日 JAバンク空知地区委員会 於 北農ビル
- 30日 青年部収穫祭 於 農協駐車場
- 30日 共済3Qキャンペーン・JAバンクPR 於 農協駐車場

10月

- 1日 子会社3社合併調印式 於 農協
- 9日 ながめま麦・大豆生産流通協議会大豆委員会 於 農協
- 10日 種馬鈴しょ共選場 操業開始 於 馬鈴薯共選場
- 10日 学校給食用 新米・新玉葱・新じゃがいも 於 長沼町役場贈呈式
- 10日 長沼町行政改革審議会 於 長沼町役場
- 11日 粃バラ施設運営協議会・自主検定委員会 於 農協
- 11~12日 北海道地区常勤監事監査研究会 於 札幌市
- 12~13日 奥州市水沢産業まつり「長沼物産展」 於 岩手県
- 15日 被災農業者向け経営体育成支援事業説明会 於 農協
- 22日 大豆施設操業開始 於 大豆調整施設
- 22日 監事会 於 農協
- 22日 理事会 於 農協

「必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も」

北海道最低賃金

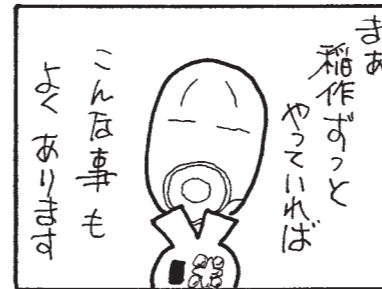
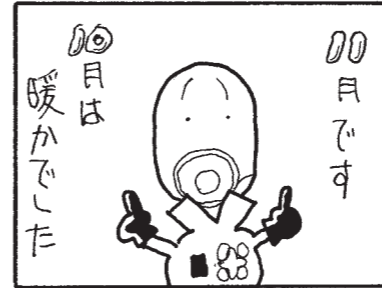
北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 **835円**

(効力発生日 平成30年10月1日)

厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署(支署)

1等米21



業務時間変更のお知らせ

下記の通り、始業時刻及び終業時刻を変更いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

■ 本所事務所・北長沼支所・舞鶴事業所

自 平成30年11月1日 ~ 至 平成31年3月31日

午前9時00分~午後5時00分まで

土曜日・日曜日・祝日は休業となります。

■ 本所資材センター

自 平成30年11月1日 ~ 至 平成31年3月31日

午前9時00分~午後4時30分まで

11月のみ土曜日・日曜日・祝日は日直対応になります。

12月以降は休業とさせていただきます。

(11月~3月)

区分		平日	土曜日	日・祝日
ながめま農協	一般業務	本所 9:00~17:00 北長沼支所 9:00~17:00 舞鶴事業所 9:00~17:00	休業	
	貯金・融資・共済(窓口業務)	本所 9:00~15:30 北長沼支所 9:00~15:30	※ 緊急時の連絡先は下記番号へお願いします キャッシュカード盗難・紛失等 ☎0120-944-904 自動車事故受付サポートセンター ☎0120-258-931 レッカー移動・故障時急対応 ☎0120-063-931	
	現金自動支払機(ATM)	本所 9:00~18:00 北長沼支所 9:00~16:30 舞鶴事業所 9:30~16:30	9:00~16:00	休業
	資材センター	本所 9:00~16:30	11月 日直対応(9:00~12:00) 12月以降 休業	
関連会社	㈱ウイズワーク Aコープ店舗	長沼店 10:00~18:30 北長沼店 9:00~17:30	10:00~18:30	10:00~18:30 <small>定休日については店頭表示にてお知らせします。</small>
	(有)長沼燃料センター	本店事務所 9:00~17:00	9:00~12:30	休業 日直対応(9:00~17:00)
	ホクレン給油所	長沼給油所 8:00~18:30 北長沼給油所 8:00~18:00	8:00~12:00	第一・三日曜日休業 その他日曜・祝日は日直対応(9:00~17:00)
	㈱長沼機械センター	8:00~17:00	日直対応(8:00~17:00)	

資材センターから

コンバイン刈刃格納研磨のお知らせ

稲刈りが終わったら、来年に備えて刃を研ぎませんか？
 冬の内に丁寧な仕事をして十分錆止めをして保管いたします。

《特典》

1. 工賃 **15%**引き
2. 来年の6月迄お預りします
3. お支払いは来年の7月下旬です
4. 格納研磨の受付期限は12月末日です

研磨工賃(税別)

	従来品	新型(Wアクション)
1条刈	2,600円	—
2条刈	3,100円	6,300円
3条刈	4,700円	8,900円
4条刈	6,800円	10,000円
5条刈	9,900円	12,000円
6条刈	—	15,000円

JA ながめま ●本所 資材センター TEL 88-2407
 ●北長沼支所 営農経済係 TEL 89-2034

2018 冬の貯金キャンペーン

JAながめま 金利上乘せ

期間 2018 11月1日(木) → 2018 12月28日(金)

定期貯金

対象者 個人

新規お預入のみ

預入期間 1年 適用金利 **0.05%**

キャンペーン対象要件
 ◆ 預入金額
 新規お預入れ 10万円以上
 ◆ 預入方式
 自動継続（満期日以降の利率は、満期日現在の店頭金利で継続書替となります）
 ◆ 中途解約について
 当 JA 所定の中途解約利率が適用されます。

預入期間 3年 適用金利 **0.07%**

定期積金

対象者 個人

キャンペーン対象要件
 ◆ 掛込金額
 契約額 12万円以上
 ◆ 掛込方式
 口座振替
 ◆ 中途解約について
 当 JA 所定の中途解約利率が適用されます。

積立期間 1年以上 5年以内 適用金利 **0.07%**

さらに! 全道合計 5,000名様に当たる!

全道統一キャンペーンも 同時に実施!!
 抽選で道産農産物、加工品などが当たります。

■キャンペーン対象条件
 ● 原則、現金または普通貯金からの振替とさせていただきます。
 ● 店頭に「商品概要説明書」をご用意しています。
 ● 書替継続の場合は10万円以上の増額で0.03%
 ・新規の方は、本人確認書類（運転免許証等）をご持参下さい。
 ・満期日以降の利率は、満期日現在の店頭表示金利での継続書替となります。
 ・お利息には、20.315%の税金がかかります。（マル優は除きます）

JAバンク ながめま農業協同組合
 ・本 所 ☎88-2224
 ・北長沼支所 ☎89-2031